

2017年5月

様々なフィールドにおける危険ドラッグ乱用に関するオンライン調査

「ONE LOVE ONLINE(プロジェクト名)」実施のご案内

【研究に関する概要】

1. 対象者: 研究に協力いただく野外イベントや店舗に来場した16歳以上の者で、日本語の質問項目が理解できる方が対象です(国籍問わず)。16歳未満の方や、日本語の質問項目が理解できない方(国籍問わず)は除きます。
2. 研究の意義: 現在、危険ドラッグ乱用者による犯罪や、重大な交通死亡事故を引き起こす事案が後を絶たず、深刻な社会問題となっています。若者を中心に乱用されている危険ドラッグの実態を把握することは、危険ドラッグの乱用拡大を防止し、薬物依存の予防をする上で役立ちます。
3. 目的: 様々なフィールド(イベント、店舗)に集まる若者を対象としたオンライン調査(手持ちのスマートフォン等で回答する)を実施し、危険ドラッグの使用経験、入手経路、使用パターンに関する最新情報を入手することが目的です。
4. 方法: この調査への参加はあくまでみなさまの自由意志に基づくものです。研究に協力いただいたイベントあるいは店舗内で、調査サイトのQRコードが印刷されたチラシを配布します(ONE LOVE ONLINEがプロジェクト名です)。調査への参加を希望される方が、自らの意志で手持ちの端末(従来型の携帯電話、スマートフォン、タブレットPCなど)を用いて調査サイトにアクセスしていただきます。
5. 研究期間: 平成27年5月～平成30年3月31日
6. 個人情報保護: このアンケートでは、個人の特定につながる情報は一切扱いません。
7. 研究倫理指針: 本研究は「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を遵守し、実施されます。また、調査実施にあたっては、国立精神・神経医療研究センター倫理委員会の承認を得ています。

【利用する情報の一般的な名称】アンケートデータ

【研究対象者が識別される情報を本研究に用いることについて、研究対象者が拒否する機会の確保】本研究では、研究対象者が識別される情報は取得しません。ただし、本研究では、イベント会場内(あるいは店舗)で調査実施の案内チラシを受け取った来場者が、自由意思に基づき調査システムにアクセスするという「応募法」を採用しており、「案内チラシを受け取らない」、「チラシを受け取ったとしても自ら調査システムにアクセスしない」という形で拒否機会が担保されています。また、「アンケートへの回答は任意であること」、「回答途中でも回答をやめることができること」を

調査画面に明記し、「拒否機会の担保」をより確実にしています。

【本研究を実施する研究責任者】

研究代表者：嶋根卓也

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

薬物依存研究部(東京都小平市小川東町四丁目1番1号)

TEL:042-346-1869(直通) e-mail: shimane@ncnp.go.jp

【苦情窓口】

国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail: rinri-jimu@ncnp.go.jp

【研究事業名】

厚生労働科学研究費補助金(医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業)
危険ドラッグおよび関連代謝産物の有害性予測法の確立と乱用実態把握に関する研究